2026

情報セキュリティセミナー

変化し続けるサイバー攻撃に対する情報セキュリティ管理体制のありかた

開催日時

2026 年 9 月 4 日 金

14:00〜16:00（受付 13:30）

オンライン同時配信

会場：愛媛大学総合情報メディアセンター 1F メディアホール

教育・研究活動の継続には、脆弱性対策やアクセス管理による被害の未然防止に加え、事業継続計画（BCP）の整備やインシデント対応体制の強化など、組織全体のレジリエンス向上が不可欠です。本セミナーでは、近年のサイバー攻撃事例を題材として、大学に求められる技術的・組織的対策やインシデント対応の考え方、情報セキュリティガバナンス強化に向けた実践的な方策についてご講演いただきます。

セミナー概要

サイバー攻撃の手口は急速に進化しており、被害が発生したことで長期間の事業停止に追い込まれる事案も発生しています。さらに、AI を活用した脆弱性探索技術の著しい向上により、脆弱性対策の猶予時間が短くなっています。一方、大学はサイバー攻撃による被害が発生しても教育・研究活動を継続することが求められています。本講演では、最近のサイバー攻撃を題材に、被害発生を未然に防ぐための情報セキュリティ対策および被害発生を想定した組織運営への影響を軽減する対策について説明します。

タイムテーブル

- 13:30 〜　受付（メディアホール前ホワイエ）
- 14:00 〜　開会挨拶
- 14:05 〜　講演
  国立情報学研究所　高倉　弘喜　氏
- 15:35 〜　質疑 / 応答
- 15:50 〜　CSIRT 報告
- 16:00 〜　閉会挨拶

参加登録はコチラ ▶

登録締切：2026 年 9 月 3 日（木）

お問合せ：center@dpc.ehime-u.ac.jp

講師　高倉 弘喜 氏

国立情報学研究所
ストラテジックサイバーレジリエンス
研究開発センター・センター長

内閣官房情報セキュリティセンター、厚生労働省、経済産業省、総務省、文部科学省、情報処理推進機構、JPCERT/CC、関東管区警察局、愛知県警、JNSA などにおいてサイバーセキュリティに関する委員会に参加。
未知のサイバー攻撃の検知・追跡・対抗策構築に関する研究に従事し、IEEE COMPSAC のサイバーセキュリティに関するシンポジウム委員長など国際会議の運営にも協力。

主催：愛媛大学総合情報メディアセンター